

中島 勲 議員（代表質問）

1 市長の政策・公約について

- ・ 就任して2年半が経過したが、その達成度と今後の進め方を問う。
 - ア 子ども第一主義
 - イ こだわりの健康づくり
 - ウ 住民と若者が常に真ん中にあるまちづくりの展開
 - エ 健全な財政の確立

2 市民会館大ホールについて

- (1) 7月10日定例議員協議会での、IS値にかかる市長の考えに対する質問における副市長の答えは、今もかわらないか。
- (2) 屋根面ブレースの耐力補強工事は、災害時避難施設としての対応と考えていいか。
- (3) 6月27日に施行された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」は、図書館法など同一の根拠法と考えられるが、当局の見解は。

3 田中小学校の改築について

- (1) 完成までのスケジュールは。
- (2) 完成までの教室の確保を含めた学校運営は万全か。
- (3) 北校舎をどのように残し、利活用するのか。
 - ア 学校とのかかわり
 - イ 市民とのかかわり

4 中学校の部活動について

- (1) 学校教育の中での位置づけは。
- (2) 各種大会で県代表になった部とその結果は。

- (3) 指導体制はどうなっているのか。
- (4) 県民体育大会における順位は下位にあるが、当局の見解は。
- (5) 部活動強化策として、市有施設（運動施設やホール）の開放を。

5 地域資源の活用について

- (1) 9月5日に「氷見と滑川をつなぐ対岸のまち観光事業実行委員会」が実施した観光船実験運行について、今後の方向性は。
- (2) 滑川を題材にした連載小説「田園発 港行き自転車」、公開中の「おおかみこどもの雨と雪」、来春公開予定の映画「脳男」などのロケが市民の関心を集めているが、市の対応はいかに。

中川 勲 議員（一般質問）

1 地域での孤立防止策を問う

- (1) 11日緊急会議が開催されたが、どのような意見が出されたか。また、今後どのようにしてサポート体制を充実させるのか。
- (2) 一人暮らし、高齢者、障害者をどこまで把握し、情報を誰に、どこまで伝えているのか。
- (3) 孤立する人を、どう地域と関わるか、引き込むかなどの手法の事例はあるのか。
- (4) 地域は強い「絆」もいいが、緩やかな「つながり」を持つ方がいいのでは。

2 小・中学校のいじめ問題について

- (1) 大津市の中2男子自殺で、いじめが改めて問題視されているが、教育委員長の所見を問う。
- (2) 小、中学校において現在不登校児童、生徒はいるのか。
- (3) もし、いじめが発覚した場合の対応は。
- (4) 学校が外部に開かれた風通しの良い状態になっているのか。

3 スポーツ少年団について

- (1) 滑川市におけるスポーツ少年団の組織はいくつあるのか。
- (2) スポーツ少年団と指導者、保護者、学校との関わりはどうなっているのか。
- (3) 活動時間はどれだけか、苦痛に感じている子どもはいないのか。
- (4) 中野市では、スポーツ文化活動運営委員会を設置しているが、参考にならないか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 消防広域化について

- (1) 今なぜ消防広域化が必要なのか。
- (2) 「富山県消防広域化推進計画」が、県東部を今の2つの枠組みに合わせて変更されたのはなぜか。
- (3) 4市町村の経費負担割合を決めた根拠は何か。
- (4) 既存財産に関して、無償貸与及び無償譲渡となるのは金額にすればそれぞれいくらか。また、債務はいくらか。
- (5) 医療圏が異なる魚津市との間で、救急業務において万全の体制がとれるのか。
- (6) 一部事務組合での広域化ならば、現時点で全て組合職員とすべきだと思うがいかがか。
- (7) 現時点では、消防指令業務の共同運用で十分ではないか。

2 中滑川駅周辺の今後の土地利用等における方向性について

- (1) 中滑川駅周辺において、近くJAアルプス所有の建物が取り壊されると聞いたが、市はどこまで情報を把握しているのか。
- (2) 並行在来線運行後の地鉄のあり方も含め、市として中滑川駅周辺の今後の土地利用等における方向性を示すべきではないか。

3 北野地内で発生した「孤立死」について

- (1) 11日に行われた緊急会議での主な意見はどうだったか。
- (2) 地域の「協働力」を向上することが今後において大事だと思われるが、そのための具体策をどのように考えるか。

- (3) 新聞店、郵便局とは異状があれば市へ連絡が来るような体制になっていると聞いている。例えば、それ以外にも牛乳配達業者や電気、ガス、水道等の検針員、浄化槽点検業者等とも同様に協定を結ぶなどの対応を早急に実施すればどうか。

4 田中小学校の改築事業について

- (1) 田中小学校の改築に際し、グラウンドやプール、築山等の中期的な配置計画も考えたうえで、実施設計に取り組むべきではないか。
- (2) 北校舎耐震改修後の利活用について、現時点で市はどのように考えているか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 防災対策について

- (1) 防災行政無線、防災ラジオが有効にその役割を果たせる体制がつくられているのか。
- (2) 学校の建物以外の耐震化について
 - ・ 報道では建物本体以外の耐震化を実施済みの公立小中学校は県全体で13.4%と全国平均の32%を下回っているとされた。どのような調査で、この調査結果だったのか。
- (3) 学校など、公的施設の避難所機能の充実を検討すべき
 - ア 寺家、田中両小学校の耐震化計画に盛り込まれるのか。
 - イ 耐震化を実施済みの施設については、検討しているのか。

2 北陸新幹線開業後の並行在来線について

- (1) 三セク会社の運営見通しと市のスタンスについて
 - ・ 利用者負担増とならない手段を講じているのか。
- (2) JRの資産譲渡、老朽施設の更新・保全について
 - ア 無償譲渡はあきらめたのか。
 - イ 老朽施設は、JRの責任で更新を求めるべきではないか。
- (3) 「基金」の拠出について考え方は。

砂原 孝 議員（一般質問）

・ 安全・安心で快適な学校施設の整備
について

- (1) 今年の猛暑の中で、早月中学校のエコスクールの効果は。
- (2) 計画されている田中小学校改築工事の実施設計の中で、全教室に冷房を設置する計画はあるのか。
- (3) 市内全小、中学校の教室に冷房を設置すべきと考えるが、当局の所見を問う。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 市内の公共敷地（河川敷、空地、市有地）及び市有建屋や私有古民家等の管理について

- (1) 市内各地を流れる河川（早月川、上市川等）の堤防（河川敷）の草刈りや雑木の処理を毎年欠かさず行うべきと思うがどうか。
- (2) 高速道路の法面及び開通まで2年半を切った北陸新幹線の高架下の管理（雑草等の処理）の徹底について陳情、要望がされているのか。
- (3) 堀江運動公園予定地（未利用地部分）の現状はそれなりの管理はされているものの、早急に結論を出すべきと思うがどうか。
- (4) 以上のような毎年管理をしていない場所が増えていると思われるが、そのような状況下で今年は特にカメムシが異常発生したと聞いているが、被害状況と対策、対応について伺う。
- (5) 市内にある建屋（公共、私有）の管理について
 - ア 市有施設（建屋）の維持管理は計画的に進められているのか。
 - イ 私有物（建屋）特に古いとされる建屋（建築物）を市、県、国等の援助や補助を行い、滑川市固有の建築物として支援すべきでないか。

2 7月にヨーロッパ（デンマーク、ドイツ）へ行政視察調査団に参加されたが、世界的に全てが先進地とされる国々での自然環境を目の当たりにしての感想と今後の滑川市に生かせるとすればどのようなことか、その所見を伺う。

原 明 議員（一般質問）

1 がん検診について

- (1) がん検診の項目と受診率について
- (2) がんによる死亡割合と部位について
- (3) 子宮頸がん予防ワクチンの接種率について
- (4) がん検診無料クーポン券の利用状況について

2 有害鳥獣対策について

- (1) 有害鳥獣による農産物の被害状況について
- (2) カラス、ムクドリによる環境被害状況と対策について
- (3) サルによる被害状況と対策について
- (4) ハクビシンによる被害状況と生態などの情報提供を
- (5) クマの出没、目撃状況について

3 市民議会の開催について

- ・ 市民参加による市民議会の開催をしてはどうか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 第5次滑川市行政改革について

- (1) 第5次滑川市行政改革実施計画に基づいた進捗等についての議会への説明について
- (2) 検討中・未実施についての現状と今後の取り組みについて
 - ア 検討中のうち、窓口業務等の外部委託の検討、利用料金制度の拡大、協働に関する庁内各部課の連携、並びに協働のまちづくり指針の作成、滑川市人材育成基本方針の見直し、地元民間企業派遣研修の検討等について
 - イ 未実施のうち、待遇研修の実施、電子申請・届出などの手続きの電子化、並びに電子文書・電子決済による行政事務の迅速化・効率化の検討、PFIを活用した民間活力の導入手法、入札制度の改善、新たな歳入の発掘等について
- (3) 総合的な現状評価と今後の取り組みについて

2 市有財産管理の適正化について

- (1) 既存の公共施設(道路・橋梁、上下水道、学校、社会基盤施設等)の現状把握、今後の対応、点検・保守・修繕と施設の更新並びに長寿命化等への取り組みについて
- (2) 市保有の未利用地についての現状と維持管理経費の削減の観点から、現在・将来を含めた未利用地の有効活用策、有料の貸与、売却処分等、今後の対応について

高木 悦子 議員（一般質問）

1 学校施設並びに市内公共施設の耐震改修は万全なものか

- (1) そもそも耐震指標 I_s 値とは、何を表す数値なのか。
- (2) 市民会館大ホールの耐震診断が行われて3年半以上が経過している。
 I_s 値とは関係なく、屋根ブレースの耐力が必要量に対して足りず大地震発生時に崩壊の危険性があるという指摘がされていたにもかかわらず、今まで放置され続けてきたのはなぜか。
- (3) I_s 値の目標値は0.6以上、学校施設は0.7以上とされているが、耐震診断の結果それを満たす建物、あるいは耐震改修工事が行われた建物イコール「安全な建物」なのか。「非構造部材」についての説明も併せてされたい。
- (4) 文部科学省の「耐震化ガイドブック」には7項目にわたる「非構造部材の耐震対策」が説かれているが、滑川市の点検・実施状況はどうか。
- (5) 非構造部材の耐震対策は、学校施設に限らず、市内公共施設全体にも準用すべきではないか。
- (6) 南部小学校体育館の耐震補強工事や、公共施設の耐震診断委託事業の指名入札において「不落」、辞退者が相次いだ結果「不落随意契約」となる入札結果が何件か出ている。
ア これら「不落」等になった原因をどのように分析しているか。
イ 耐震化のスケジュールに対する影響は。

2 雇用促進住宅上小泉宿舎並びに市営駅前団地について問う

- (1) 上小泉宿舎について、3年前までは「耐震改修・設備更新もされているが、施設の老朽化から、今後の維持管理費に相当の財政負担が伴う」という判断がされていた。2年前からは「今後の維持管理費に伴う財政負担」の説明が消えた。上小泉宿舎は「建物の耐震化」はされているが、「非構造部材の耐震対策」や「15年が更新の目安とされている給排水設備や電気設備などの老朽化対策の維持管理」の実態はどうなっているか。

- (2) 上小泉宿舎の購入動機については、2年半前には雇用者の住宅確保、人口流出防止という目的を掲げていたが、1年半前には生活保護世帯の増加や若年世代のニーズなどを理由に低所得者向けの低廉住宅という目的に方向転換しているが、実態は働く若い世代のニーズに対して、吾妻団地や北野団地は満室になっていないのはなぜか。
- (3) 人口流出と言うが、滑川市だけではなく富山県全体で人口が減少している。富山県だけでなく、日本全体で人口が減少している。人が住まなくなった滑川市内には空き家、入居者募集中の空きアパートが沢山あり、「住むところが無い」わけではない。人口減少社会に突入した認識をいつになったら持つのか。
- (4) 駅前団地の住民は強制的に上小泉宿舎へ移転しなければならないという既成事実を作り、誤ったすりこみがされつつある。一部の駅前団地の住民に対して、大きな不安を与えている。対応を改めるべきではないか。
- (5) 駅前住宅の老朽化が著しいことは理解するが、高齢者が多く生活されている駅前団地居住者のこれまでの生活を一変することなく、安心して暮らせる吾妻団地への移転のお願いと、家賃補填という対策の方が正しい選択ではないか。
- (6) 上小泉宿舎購入実現のために、駅前団地の住民の皆さんの生活を犠牲にしようとしていないか。

3 入札に関する考え方を問う

- (1) 入札参加資格申請に関して、業務内容の区分で4種の申請様式を設けているが、共通している「入札に参加できない者」の条件は何か。
- (2) 事業所の所在地に関して、付している条件はあるか。
- (3) 営業所等で資格申請をする場合に、付している条件はあるか。
- (4) 申請内容の確認は、提出された書面等のみで行うのか。
- (5) 上記の条件を満たせば、どのような事業者が資格申請をしたとしても許可をするのか。滑川市内で主たる事業活動をする事業者で、入札に必要な事業者数を確保できると判断した場合でも、来る者は拒まないのか。

(6) 指名競争入札とするか一般競争入札とするかの判断基準は何か。

(7) 落札価格は、安ければ安いほうがいいのか。

石倉 正樹 議員（一般質問）

・ 駅前住宅の今後の方針と雇用促進住宅の取得について

- (1) 老朽化した駅前住宅を今後どうするのか。
- ア 最近排水で1回、給水で1回漏水事故が発生しているが、今後も想定されるのか。
 - イ 耐震化も含め、大規模改修をするのか。改修するとすれば概算でいくらくらいかかるのか。
 - ウ 建てかえをするのか。するとすれば概算でいくらくらいになるのか。
- (2) 雇用促進住宅への移転を検討中と聞くが、その真意を問う。
- ア 駅前住宅の住民の皆さんの理解と協力が得られるのか。今までの経過と今後のスケジュールは。
 - イ 議会への説明も並行して行うべきと思うが、これまでは不十分と考える。今後の対応は。
 - ウ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の譲渡方針に、市としての対応は大丈夫か。
 - エ 現在、耐震化になっているのか。又、取得して10年間の修繕費はどの程度と見込まれるのか。又、収支はどの程度見込めるのか。
 - オ 住宅事情も考え、吾妻・北野・上小泉の3カ所を同時に取得する必要はあるのか。
 - カ 住民の皆さんの移転後の駅前住宅及び跡地について、どう考えているのか。

野末 利夫 議員（一般質問）

1 教育（安心安全）行政について

- (1) いじめ対策は大丈夫か、現状は。
- (2) 「通学路の安全対策」について
 - ア 本市において、先月末までに緊急合同総点検が実施されたと思うが、その結果について問う。
 - イ 緊急合同総点検の結果を「点検のための点検」に終わらせないために、「目に見える」諸対策の迅速かつ計画的な実施をすべきと思うが、当局の見解を問う。
- (3) 給食費等について、第3子以降を無料にしてはどうか。

2 行政としての役割と市民ニーズについて

- (1) コンビニエンスストアにおける証明書等の交付について
- (2) 市内で発生した孤立死に対し、今後の対策について

3 食料品アクセス問題について

- ・ 日本国内で著しく進行する少子高齢化や食料品店の減少など生活のための買い物にも困る「フードデザート」（食料砂漠）、「買い物弱者」が問題化の傾向にあると思うが、当局の対策は。

4 防災対策について

- ・ 災害時に避難所となる学校に「情報の収集・伝達」、「救出・救助」の新たな役割を加え、防災活動の拠点としてはどうか、当局の見解を問う。

